

水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験



JAあさひかわ

北野第一共同育苗組合



①5.8撮影 森田様 試験区



②5.8撮影 森田様 慣行区



③5.8撮影 森田様 試験区



④5.8撮影 森田様 慣行区



⑤5.8撮影 田浦様 試験区



⑥5.8撮影 田浦様 慣行区

試験目的

水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験

試験作物 及び品種

水稲
ななつぼし、きらら397

試験資材 及び数量(規格)

こめパワーマット

慣行資材

培土

栽培方法

播種日

4月21日

定植日

森田様:5月18日
田浦様:5月24日

資材使用期間

慣行区:4月～
試験区:4月～

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

育苗箱への設置は問題なかった。
試験品の方が土に比べて弾力があるためか、少し種をはじき重なりがあるように見受けられた。
また、田植え前に根ハリが良くなり過ぎたため、育苗箱からマットを剥がす際に作業性が悪くなってしまった。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 育苗箱が軽くなる。
【問題点】: 田植え機のツメの摩耗(劣化)が早い。

モニター感想

(森田様) 試験品の方が若干苗の生育が遅れ気味になると聞き、田植え時期の後半に適した苗になることを狙い、こめパワーマットを試験した。結果は予想以上に育苗が順調で根ハリが良すぎたために、かえって作業性が悪くなってしまった。また、育苗期間中にハウスの裾を開けた際、風上側が試験品の方が乾きやすく感じた。

(田浦様) 全体的に生育が良く、根ハリも非常に良かった。こめパワーマット自体の水持ちは良いと思うが、その分1回の灌水量は多めにする方が良いと感じた。また、試験品の特性によるものと考えられるが、田植え機の爪の減り具合が早く感じられたため、交換周期が早くなるのはデメリットになってしまう。

JA担当者の感想(購買課 金屋調査役)

こめパワーマットの特性により少し生育が遅れることから、田植え時期の後半の苗として使用する目的で試験を行った。本来、健苗であることは良いことだが、想定以上に生育が良好かつ根ハリが良かったために、育苗箱から剥がす作業性がやや悪くなった。そのため当初の目的である田植え期後半の苗としては、あまり適さなかった。また、今回の試験では田植え機の爪の劣化が早まっているように見受けられた。

今回の試験先ではあまり良い結果を得られなかったが、当農協管内の他の生産者では上手く使用できている事例もあるため、こめパワーマットの性質や特徴を正確に伝えたいと、普及に努めたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
狙い通りの育苗とはならなかったため、次年度に向けては検討中。